

～芸術の魅力に触れる～ 加東市公募美術展



2月8日から12日まで、滝野図書館で加東市公募美術展が開催されました。5部門の応募総数は411作品で、各部門の受賞者は次のみなさんです。(奨励賞は市内在住の方のみ掲載：敬称略)

【日本画の部】最優秀賞：該当なし 優秀賞：丸山かつみ(河高) 中上泰三(姫路市) 大庭 敏(稲美町) 【洋画の部】最優秀賞：竹内可充(社) 優秀賞：児玉 泰(高槻市) 足立哲郎(朝来市) 藤原順一(姫路市) 奨励賞：竹内 保(曾我) 吉村佳代(社) 遠藤兼一(山国) 藤原かおり(天神) 竹内公香(曾我) 【彫刻・工芸の部】最優秀賞：山本 靖(三木市) 優秀賞：加藤幸子(西脇市) 河野好文(西脇市) 鈴木健司(姫路市) 奨励賞：岡本利子(北野) 盛田直美(ひろのが丘) 【書の部】最優秀賞：井上佐代子(山国) 優秀賞：永木小夜(三田市) 大久保葵香(高岡) 井上 進(三木市) 奨励賞：宮崎山月(東実) 越川敏朗(喜田) 【写真の部】最優秀賞：平井正富久(三木市) 優秀賞：小松幸男(西脇市) 門脇紀夫(家原) 香山 勇(明石市) 奨励賞：末広一五郎(下滝野) 藤井紀夫(上中) 藤本 清(松尾)

鬼を払って福を呼ぶ



2月3日には、市内各所で、節分にちなんださまざまなイベントが行われました。

わかあゆ園では、成田山(西脇市)の職員が扮する鬼が現れ、子どもたちは大喜び。「福は内」などとはしゃぎながら鬼に豆を投げつけ、福を呼び込みました。

入浴者200万人を突破



2月18日、滝野温泉ぽかぽの入浴者が、開業11年4か月にして、200万人を突破しました。

節目の200万人目となったのは、福田美智子さん(上滝野) 大橋節子さん(小野市) 梅川美知子さん(小野市)の3人組。「200万人目と聞いてびっくりしました。ぽかぽは泉質がいいから、体がよく温まるのが魅力です」と話されました。

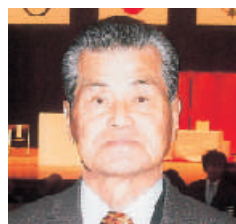
チョコレートに大喜び

2月15日、市マスコットキャラクターの加東伝の助にパレンティンチョコレートが届きました。

生まれて初めてもらったチョコレートに、伝の助は「これを励みに、さらに加東市の魅力を伝えていけるよう頑張ります」と話してくれました。



藤本さんに緑十字銀賞



1月17日、藤本 弘さん(天神)が、長年にわたる交通安全・交通事故防止活動への貢献により、交通栄誉賞「緑十字銀賞」を受賞されました。おめでとうございます。

長寿をお祝いしました



2月10日に中田 壬子さん(木梨・左)、2月12日に岸本みつゑさん(永福・右)が、100歳を迎えられました。

詩吟が好きという中田さん。100歳になった感想は「なんともいえない気持ち」とのこと。

また、岸本さんは、「好きな食べ物はたこやき。好き嫌いせずになんでも食べることが長生きの秘訣」と話されました。

これからもお元気でお過ごしください。

～貴重な文化財を間近に～ 国宝・朝光寺本堂の工事現場見学会を開催



1月29日、保存修理が進められている国宝・朝光寺本堂で、工事現場見学会を開催。歴史愛好家ら430人が、屋根葺替工事のようすを見学されました。

朝光寺は、651年に法道仙人によって開祖されたと伝えられています。現在の本堂は、室町時代初期の建築(再建)といわれ、昭和29年に国宝に指定されました。昭和10年には、災害復旧として解体修理が行われましたが、屋根瓦の破損・劣化が著しく、平成22年11月から、平成24年8月の完成を目指して、屋根の葺替工事を行っています。

午前10時には、県内だけでなく大阪や京都などから約150人が訪れ、20人ずつ順番に修理を終えた野地板や軒廻り、一面に張られたスギ皮、瓦を葺いた状態などを見学。「次の修理は100年後。こんなに間近に見られるのはこれが最後で、貴重な体験」と、熱心に写真に収められていました。

なお、工事が完了に近づく平成24年6月ごろに、再度、見学会を開く予定です。

アームレスリングで日本チャンピオン

アームレスリング選手の時政洋平さん(上中)が、全国大会で優勝されるなど、活躍されています。

「単純な力比べではない、駆け引きの複雑さが面白い」とアームレスリングの魅力を語られる時政さん。20歳のときに競技を始められ、キャリアは5年。現在は、日ごろのトレーニングと、週1回の実戦練習に励まれ、実力を伸ばされています。

平成23年9月には、東京都で開催された「第29回全日本アームレスリング選手権大会 男子レフトハンド80kg級」において、全国大会3度目の挑戦にして、悲願の初優勝を果たされました。

時政さんは、「腕の長さなど、外国勢が有利な競技ですが、練習を重ねて国際大会でも活躍していきたい。まだまだマイナーな競技なので、その魅力を多くの人に伝えることができれば」と話されました。



時政洋平さん

厄を払う伝統の祭り



2月11日、河高八幡神社で、「銭投げ」の神事で知られる河高厄除祭が行われました。祭りの起源ははっきりしませんが、

江戸時代には、厄年の人が他人に金品を施すと厄から逃れられると考えられていたそうで、八幡神社の氏子の子どもたちに餅などを投げたことが始まりといわれています。

早朝から厄年を迎えた方々が、硬貨や餅を豪快に投げ、法被姿の子どもたちが、競いながら拾い集めていました。

山田錦の魅力再発見

2月12日、市役所滝野庁舎周辺(踊り会場)や蔵まつり会場、滝野温泉ぽかぽ、滝野にぎわいプラザで、「あったか加東冬のまつり」が開催されました。

蔵まつり会場では、ラジオパーソナリティ・谷五郎さん司会による「利き酒大会」などが行われ、見事に山田錦を用いた地酒を当てられた参加者は、「やっぱり味の深みが違う」とコメント。加東市産山田錦の魅力再確認されました。

また、踊り会場では、特産品の展示販売や模擬店、よさこい踊りの披露などが行われました。



谷五郎さん(左)と利き酒にチャレンジ



TOPICS

身近な話題など、お気軽にご連絡ください。

広報係がカメラを持って伺います。

☎43-0387